
『詩』置き場

天城 式

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『詩』置き場

【Nコード】

N8805K

【作者名】

天城 式

【あらすじ】

ここは詩の置き場になります。詩は不定期に更新されていきます

想い人々おもいびと

逢いたい・・・逢えないこの気持ち・・・
願えば願うほど・・・辛くなるこの気持ち・・・

そう、私は待っている　彼からの連絡を
私からではなく　彼から届くのを待っている
何時までも、何時までも　彼からの連絡だけを待っている

手と手を繋ぎ歩いていたい　二人だけで歩いていきたい
二人で手を取り　二人だけの時間を歩きたい

いつも、いつも、いつまでも　貴方を待っている
いつまでも　いつまでも　待ち続ける
私たちは通じ合っているから　いつまでも待っていてられる

逢いたい・・・逢えないこの気持ち・・・
望めば望むほど・・・悲しくなるこの気持ち・・・

ただ、私は待っている　いつか届く連絡を
私は待つしか出来ない　早く届いて欲しいと願うばかり
何時までも、何時までも　いつか届くと信じて

私の隣は貴方だけ　腕を組み、歩きたい
そのために・・・私は待っているから

逢いたい・・・逢えないこの気持ち・・・
祈れば祈るほど・・・辛くなるこの気持ち・・・

願いが届けば、いつか逢える
望みが叶えば、きっと逢える
祈りが届けば、必ず逢える

いつか・・・きっと・・・

D r e a m へ永遠へ

このまま飛んで行きたい
遙かなる『未来』へと
僕らは生きていく
『時』と共に…

そう、僕は気づいたんだ
『生』を持つことに意味はないと
人は生きるのに『理由』^{わけ}は無いと
生きたいから生きるのだと
この空には何が『在』るのだろう
僕はそれを確かめてみたい
自らが持つこの白く儚い『夢』という翼で
羽ばたいていき
たい

自らの目で確かめてみたい
それが僕の生きる証だから
まだ見ぬ空の果てへと
遠く、高く、飛んで生きたい
そして…時と共に過ごしていきたい

このまま飛んで行きたい
まだ見ぬ『未来』へと
彼らは生きていく
『時』と共に…

そう、僕は見失ったんだ
僕が生きる『夢』を
それは、一つの迷い
僕が生きるということの迷い

あの空へ行きたい
そして、吸い込まれてしまいたい
あの広く澄んだ蒼い空
あそこなら僕を飲み込んでくれそう
だから

このまま飛んで行きたい 先の見えない『未来』へ
皆生きている 『時』と共に…

僕は歩いていく 皆で手を取り合い
この先に在る『永遠』に向かって…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8805k/>

『詩』置き場

2010年10月15日23時45分発行